



秋の田の 穂田を雁(かり)がね闇(くら)けくに 夜のほどもにも 鳴き渡るかも

10月の万葉集 巻8-1539 聖武天皇

(秋の田の穂の出た田を刈り…雁がまだ暗いのに夜の明け方に鳴き渡ってゆくよ)

茶の心、「用意」と「卒意」を！

10月に入りようやく暑さが和らぎ、朝夕はずいぶん涼しくなってきました。あちらこちらの家の庭からは町の木であるキンモクセイの芳しい花の香が秋風によって漂う好季節を迎えています。

そのような中、新型コロナウイルス感染症もようやく収束しはじめ、広陵町でも9月25日以降、感染者が出ていない状況です。この状況に甘んじることなく、学校・園では、これまでと同様、徹底した3密回避等、感染予防対策を実施し、子どもたちには絶対うつつさない取組を進めてもらっています。

さて、広陵町の学校教育の指導方針の重点目標の一つに「豊かな人間性の育成」があります。そこには、「自分や他者を理解し、生命を大切にす心や人権を尊重する心、自律心、責任感、正義感を育む。……」が明記されています。特に、「自分や他者を理解し」では、自分の気持ちも大切ですが、それ以上に他人(相手)の気持ちになって物事を考えることが重要です。

ところで、茶道の精神を表す言葉には「おもてなしの心」「一期一会」「侘び寂び」などは有名ですが、「用意」と「卒意」というものがあります。「用意」とは、客人(お茶を飲む人)をもてなすために主人(お茶を点てる人)があらかじめ行う準備のことをいい、「卒意」とは、主人がその場の雰囲気に応じて行動することや、主人のもてなしに合わせるために客人に求められる心構えや行動のことを言います。

相手の気持ちになって気を配り、誠意を込めてもてなそうとする行為と、それに対する気持を行動で示す「用意」と「卒意」が相互に作用し合って「一期一会」の心地よい空間や時間を生み出すことができるのでしょ。目的を達成するためには、「主客一体」の状態、いわゆる双方の関わりがとても大切です。

学校生活の中でも、子どもたちは茶道で言う主人となって周りの子どもたちや教員を含む大人に対して心を配りながらもてなす場面、逆に客人となってもてなされる場面などがあります。日常的に自分が周りの人たちに対して何ができるのかを考えて行動できる力を身に付けてくれることが私たちの願いです。

この「用意」と「卒意」は、社会全般でも重視すべき考え方で



もありません。「自分の所属する組織が何をしてくれるのか」「上司や先輩は何をしてしてくれるのか」など周りの人が自分に何かをしてくれることだけを期待し、受け身の姿勢でいるのではなく、自分が周りの人たちに対して何ができるかを考えること、すなわち仕事を行う上での「卒意」を明確にすることが、仕事を行う上で大切であることをしっかり理解させる必要があります。

茶道に関心をもつ人の数は、海外でも増えているそうです。日本人が大切に受け継いできた「茶の心」を、子どもたちもやがて社会に出たときには、「用意」と「卒意」で相手への気遣いができる人になってほしいと願っています。

教育委員会の取組

教育振興基本計画の策定を進めています！

教育振興基本計画は、国が平成18年に法律第120号として制定した教育基本法で示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るために策定された計画です。

広陵町としては、長期的な教育方針と教育施策を示す中で、本町での就学前教育、学校教育、社会教育等、幼少期から高齢者までの継続的な学びを通して、学校教育を中心に未来の社会を生き抜くことができる力をもった次世代の人材を育成することを目指し、平成28年度に策定した「広陵町教育大綱」の見直しとともに、新たに新しい時代に即した計画を策定するものです。

この計画を策定するに当たっては、「広陵町教育振興基本計画等策定委員会設置条例」を定め、委員には、学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、保護者代表、園長・小中学校長代表になってもらっています。

これまで2回の策定委員会を開催しました。第1回目の案件では、①策定委員会設置条例について、②広陵町教育大綱について、③広陵町教育振興基本計画について、④策定スケジュールについて、が話し合われ、特に基本計画の上位計画である教育大綱の見直しについて、活発な意見をいただきました。

第2回目では、前回にいただいた意見を反映した教育大綱の案(1 策定の趣旨 2 期間 3 位置づけ 4 教育理念 5 教育方針 6 基本施策 7 体系)を提示し、若干の修正を経て、概ね了承していただきました。また、振興基本計画の策定に向けてのアンケート調査(小中学生、保護者、教職員、幼稚園保護者対象)を予定しており、その内容について詳細に説明するとともに、加除修正を含む様々なご意見をいただきました。これらの意見を反映させて、10月下旬にはアンケートを配付する予定です。



学校から



学校長から

真美ヶ丘第一小学校より

いも掘り体験をしました！

10月5日(火)、1・2年生が町内の株式会社ナコーさんの畑でいも掘り体験をしました。毎年ナコーさんにはお世話になっています。収穫体験をさせていただいたうえ、掘ったさつまいも



も有り難くいただいています。当日は、スーパーマーケットでは見たことがないくらい大きなさつまいもを掘ったり、変わった形のさつまいもを見つけたりして、子どもたちも大喜びでした。お家に帰ってからは、家族でおいしくいただいていることだろうと思います。

真美ヶ丘中学校より

ハコハコベリレー

10月6日(水)に、予定通り第36回体育大会を開催することができました。半日の開催でしたが、今年度初めての学校行事ということで、生徒たちは生き生きと活動し、大いに盛り上がり、素晴らしい体育大会となりました。



ことができました。半日の開催でしたが、今年度初めての学校行事ということで、生徒たちは生き生きと活動し、大いに盛り上がり、素晴らしい体育大会となりました。

広陵中学校より

秋の日を満喫！

10月6日、秋晴れの下、第63回体育大会が行われました。今年も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため半日の開催となりましたが、生徒の皆さんは元気いっぱいの姿を見せてくれました。

緊張でいっぱいになりながらの素晴らしい選手宣誓に始まり、きれいに揃った準備体操、楽しい笑いも巻き起こる学年種目、籠が高く難しくなった玉入れ、クラスみんなで息を合わせての大縄跳び、リレーはもちろん大盛り上がり！ とてもいい半日が過ごせました。



籠が高く難しくなった玉入れ、クラスみんなで息を合わせての大縄跳び、リレーはもちろん大盛り上がり！ とてもいい半日が過ごせました。

西小学校より

運動会を2部制で！

10月7日(木)に3学年ずつ2部制で運動会を開催しました。どの学年も暑さに負けず、最後まで諦めない姿が随所に見られました。

とりわけ、6年生にとっては小学校最後の運動会でしたが、堂々とした選手宣誓や終わりの挨拶、迫力のあるリレーなど、「さすがは最高学年」と思わせる姿に、会場からはひととき大きな拍手をいただきました。観覧いただいた皆様、温かい応援、本当にありがとうございました。



詩のコーナー

影と海

谷川 俊太郎

私がだれかを傷つけるとき

苦しむのは私

あなたがだれかを苦しめるとき

傷つくのはそのあなた

苦しみも傷ついてくる

影のようにどこまでも

私がだれかを喜ばすとき

幸せなのはこの私

あなたがだれかを幸せにするとき

喜ぶのはそのあなた

幸せと喜びは歌っている

海のようにいつまでも

